

第47回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

やりとりの形式

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ JSON message types

この回には、非推奨の断り書きがありません

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

全51回の、今日はここ

原石工房

Claude Code 101 — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

手分け（subagents） — 第28回〜第31回

28 29 30 31

MCP 入門 — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用 — 第41回〜第51回

41 42 43 44 45 46 **47** 48 49 50 51

今日はここ　第47回

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

今日のレッスン

原石工房

MCP: Advanced Topics の第7回

原題　JSON message types

訳　やりとりの形式

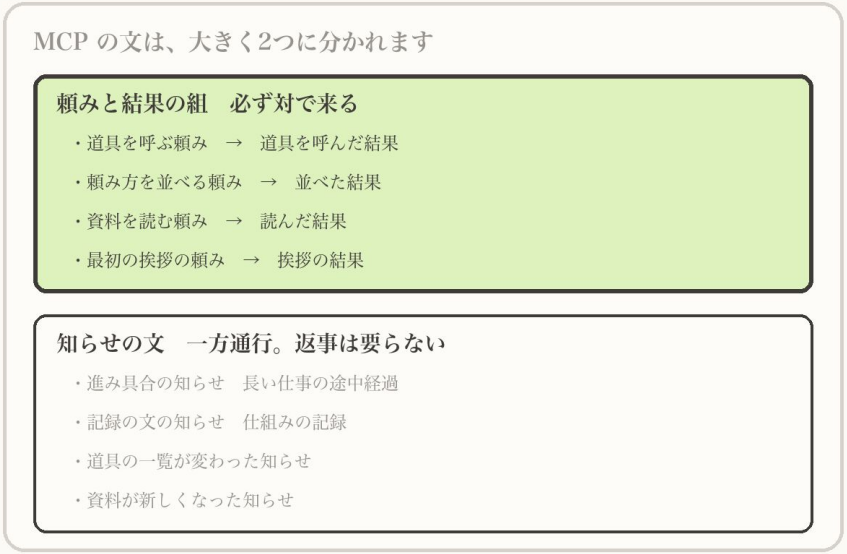
つなぐ側とサーバーが、どんな文をやりとりしているのかを見ます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

① 文は、2つに分かれます

原石工房

原題 Message Categories



返事が要るか、要らないか

頼みと結果の組　必ず対で来て、結果を待ちます

知らせの文　一方通行で、返事は要りません

第43回で見た進み具合と記録が、知らせのほうにあります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

② 決まりごとと、道具立ては別もの

原石工房

原題 MCP Specification



決まりごとと、道具立ては別もの

文の種類の全部は、GitHub の決まりごとにあります

道具立て (Python・TypeScript) とは、別の置き場です

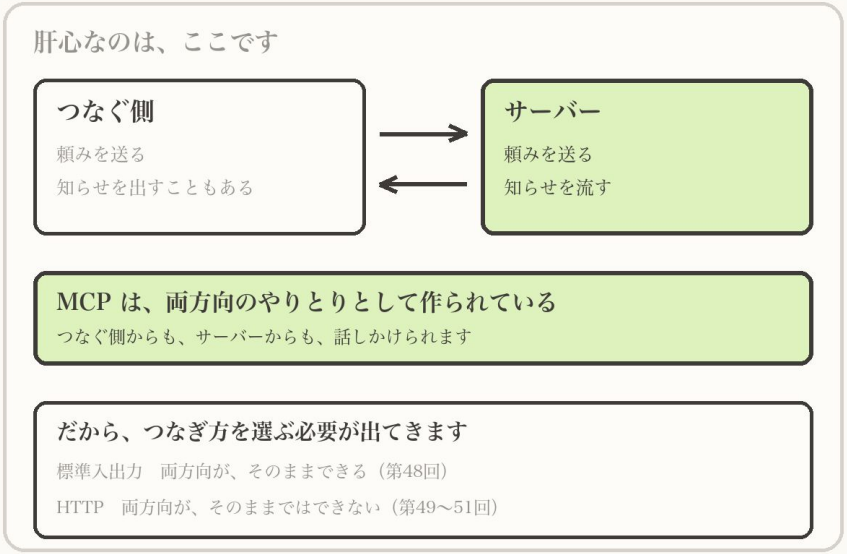
TypeScript で書かれているのは、形をはっきり書き表せるからです

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

③ 肝心なのは、両方向だということ

原石工房

原題 Why This Matters



この性質が、次の3回の背骨になります

つなぐ側からも、サーバーからも話しかけられます

つなぎ方によって、どの向きに流せるかに限りがあります

だから、使い道に合ったつなぎ方を選ぶ必要が出てきます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

ここから先は、これをどう保つかの話

原石工房

MCP は、両方向のやりとりとして作られている

つなぐ側からも、サーバーからも、いつでも話しかけられる
この一点が、ここから先の3回をぜんぶ決めます

第48回　標準入出力

両方向が、そのまま素直にできる

第49〜51回　HTTP

両方向が、そのままではできない。工夫と引き換えが要る

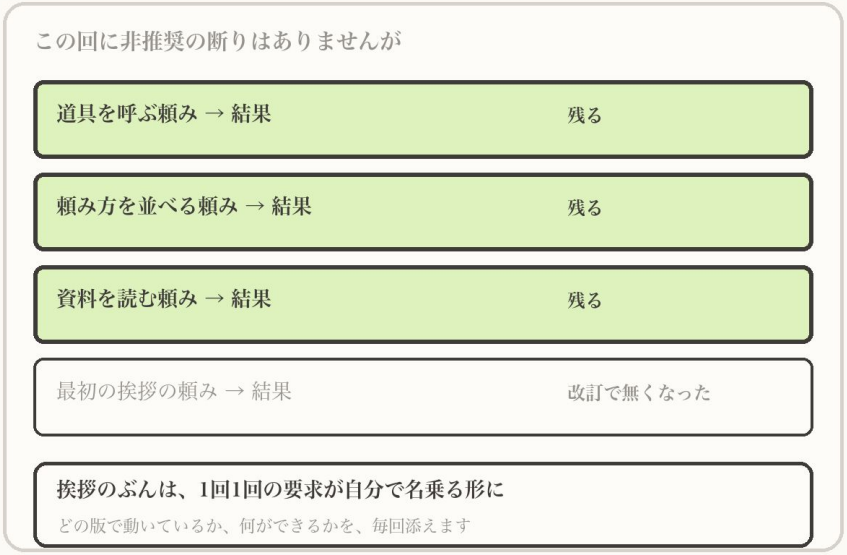
ここから先は、これをどう保つかの話

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　改訂で、挨拶の組だけ消えました

原石工房

ここから先は原文にありません



文の種類は残り、挨拶の組だけ消えた

道具・頼み方・資料の組は、そのまま残ります

最初の挨拶の組だけが、改訂で無くなりました

そのぶんは、1回1回の要求が自分で名乗る形になりました

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　「両方向」が、このコースの背骨でした

原石工房

非推奨の3つは、どれもサーバーから話しかける形でした

今日、その性質に名前が付きました。両方向である、と

次の3回は、この両方向をどう実現するかの話です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

今回のまとめ

やりとりは、すべて JSON の文

頼みと結果の組か、返事の要らない知らせか

肝心なのは、MCP が両方向のやりとりだということ

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/json-message-types ／ 非公式の日本語訳

その道具は、どちらから話しかけていますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く